

## 2019年度第8回理事会(みなし決議)

2020年3月19日(木)に承認された第8回理事会(みなし決議)の概要をお知らせします。

### <決議事項>

2020年3月10日に、代表理事 嶋岡健治が理事及び監事全員に対して、理事会の決議事項である上記内容の提案書を発送した。

#### ●第11期(2020年度)事業計画について

本年は、7月24日より開幕する第32回オリンピック競技大会に向けて、長年準備してきた事をしっかりと実践する特別な年であり、バレーボール、ビーチバレーボール競技全カテゴリーにおいて、最高の成果を出すために総力を挙げて取り組んで行く決意である。

昨年を振り返るとワールドカップ大会をはじめ各種大会を加盟団体の皆様とともに開催させていただき、従来にも増して取り組みの範囲を拡大し、関係部署と連携できたことにより大きな成果を上げることが出来た。今後もバレーボールの価値を高める為の努力を惜しまずに、これらのサイクルを最大限、継続・推進することが重要となる。

事業計画では、「1. 強化」、「2. 財務改革」、「3. ガバナンス及びコンプライアンス強化・推進」、「4. 体罰・暴力・ハラスメント根絶に向けた取り組みの強化」を重点課題とし、実現に向け鋭意努力する。

※第11期(2020年度)事業計画をJVAホームページに掲載いたしましたので、詳細はご確認ください。

[https://www.jva.or.jp/jva/plans\\_and\\_reports.html](https://www.jva.or.jp/jva/plans_and_reports.html)

#### ●第11期(2020年度)予算について

##### ●2020年度予算

## 【全体の収支】

収入総額は2,274百万円(前年は3,164百万円)、費用総額は2,546百万円(前年は3,556百万円)となり▲272百万円(前年は▲393百万円)と4年連続の赤字予算を計上している。

2019年度は、ワールドカップ(男女)の日本開催と4スターのビーチバレーボール国際大会があったが、2020年度は毎年行われるバレーボールネーションズリーグ(VNL)以外の大きな国際大会がないため、収入・費用とも前年度より大幅に減少が見込まれる。

2019年度に続き大きな赤字予算となっているが、目前に迫った東京オリンピックまでインドア・ビーチともに全力投球する財政支出予算となっている。

なお、公益目的事業費率は90.14%であり、この数値が50%以上あることが公益財団としてのひとつの条件であるが、十分満たしている。

※第11期(2020年度)予算をJVAホームページに掲載いたしましたので、詳細をご確認ください。

<https://www.jva.or.jp/jva/finance.html>

## ●組織の改編について(2020年4月1日付)

- ①2019年4月1日付で、ビーチバレーボール事業本部を発展的解消とし、「選手強化事業」はハイパフォーマンス事業本部へ、「ビーチバレーボール大会の運営事業」は、大会運営事業本部に移管された。

1年間が経過する中で、インドアとビーチの選手強化において融合が図られ、有望選手の発掘育成や委員会活動においても成果が確認できたが、一方でビーチバレーボールにおける「選手育成」と「大会運営」との連携が希薄となり、事務手続き等に不十分さを残す結果となった。

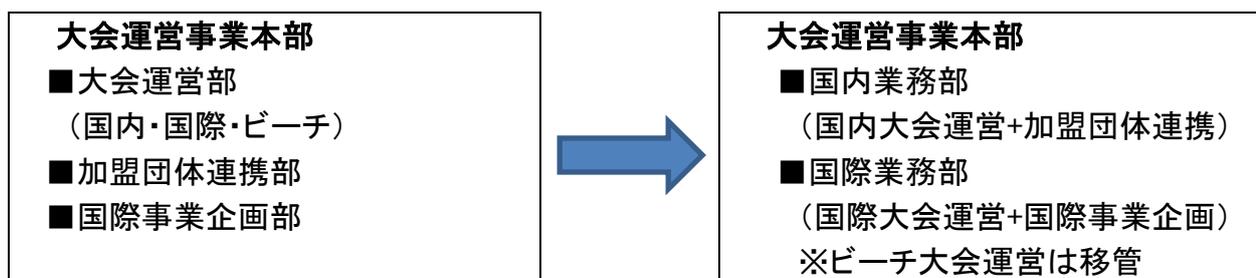
さらに、大会運営事業においては、旧事業本部からビーチ大会の運営が移管され、本部長一人が「国内大会」「国際大会」「ビーチ大会」の責任者を務めることになり、大会の期間が重なったときの責任体制に問題を残す結果となった。

組織改編後1年が経過する中で、ビーチバレーボールの運営体制について関係者が集まり検討を重ねたが、この1年間で得た成果を踏襲することを前提に、今般ビーチバレーボール事業本部を再設置する結論に至った。

- ②大会運営事業本部の業務を再編・集約し、「国内業務部」と「国際業務部」の2部体制とする。

(2019年8月1日)

(2020年4月1日付)



## ●事務局規程の改定

上記組織改編に関わる事務局規程の改定を行う。

## ●重要な使用人の選任について

2020年4月1日付組織の改編に伴い、下記のとおり重要な使用人の選任をいたしたい。

(2020年4月1日付)

・紀伊良文 氏

【旧】大会運営事業本部副本部長(ビーチバレーボール担当)兼 国際事業企画部部長

【新】ビーチバレーボール事業本部長 兼 ビーチバレーボール業務部長

・小田勝美 氏

【旧】ハイパフォーマンス事業本部副本部長 兼 ハイパフォーマンス推進部ビーチバレーボール強化部長

【新】ビーチバレーボール事業本部副本部長 兼 ビーチバレーボール業務部ビーチバレーボール強化部長

## ●功労者 I 表彰決定について

功労者 I 表彰候補者 7 名について、表彰委員会にて審査を行い、理事会に推薦することを決定したため、承認願いたい。

### 【功労者 I】

#### ① 功労者 I

- ア、 本会若しくは本会に加盟する全国的に組織されたバレーボール競技団体の役員又は本会の委員会委員及び協力社等の立場から、バレーボールの普及・発展に著しい功績のあった者で、原則として当該関係歴が 20 年以上ある者。
- イ、 全国的・国際的規模の競技会レベルの指導者としてバレーボールの競技人口の拡大又は競技水準の向上に著しい功労のあった者で、原則として当該関係歴が 30 年以上ある者。

氏名	推薦団体
山根武	日本ヤングクラブバレーボール連盟
	日本ソフトバレーボール連盟
不老浩二	(公財)日本バレーボール協会
森田淳悟	(公財)日本バレーボール協会
西川友之	富山県バレーボール協会
迫田義人	(公財)東京都バレーボール協会
長谷川吉秋	(一社)石川県バレーボール協会
山野上聖一	大阪府バレーボール協会

## ●特定費用準備資金の追加積立について

### ●特定費用準備資金の追加積立(4億円)について

#### (提案理由)

公益認定法でいう財務 3 基準のうち「収支相償基準」を 2018 年度において満たしておらず(344 百万円の黒字)、早急な解消策を内閣府から求められている。

2019 年に開催されたワールドカップの盛況等により協会全体で黒字に転換することが見込まれており、収支相償基準を確実に満たすために特定費用準備資金 400 百万円の追加積立をご承認いただきたい。

## ●現下における大会開催の可否判断について

新型コロナウイルスの感染拡大により、JVA 主催大会の開催についても開催の中止等多大なる影響が出ている。令和元年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンドも、お客様や選手、スタッフの健康・安全を第一義に考え中止と言う苦渋の選択をした。今後、状況変化に応じた迅速なる判断が求められる中、大会開催の最終判断については、業務執行理事会に一任いただき、理事会へは報告事項として取り扱いたい。

当該の議案につき、2020 年 3 月 19 日までに決議に加わることのできる理事の全員から文書により、各項目に対して同意する旨の意思表示を、また監事 3 名から本件について異議が無い旨の意思表示を得たので、定款第 43 条に基づき、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったとみなされた。

以上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会      発行人：事務局長 鍛冶 良則  
電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109      E-mail：generalaffairs@jva.or.jp